

2013年3月期 第2四半期

決算説明会

プレゼンテーション資料

2012年11月20日

東証一部 証券コード 3023



ラサ商事株式会社

<http://www.rasaco.co.jp/>

I. 2013年3月第2四半期決算の概要

1. 連結決算について
2. 環境および決算の概要
3. 連結決算ハイライト(当初予想比)
4. 連結収益分析(当初予想比)
5. 部門別連結売上・利益構成比
6. 部門別売上高営業利益(個別の前年同期比)
7. 部門別の概況
 - ①資源・金属素材関連
 - ②産機・建機関連
 - ③環境設備関連
 - ④化成品関連
 - ⑤不動産賃貸関連

8. 連結貸借対照表

- ①資産の部
- ②負債・資本の部

9. 連結キャッシュ・フロー

II. 2013年3月期 業績見通し

1. 業績見通し
2. 配当
3. 株主優待制度の一部変更

III. 今後の戦略

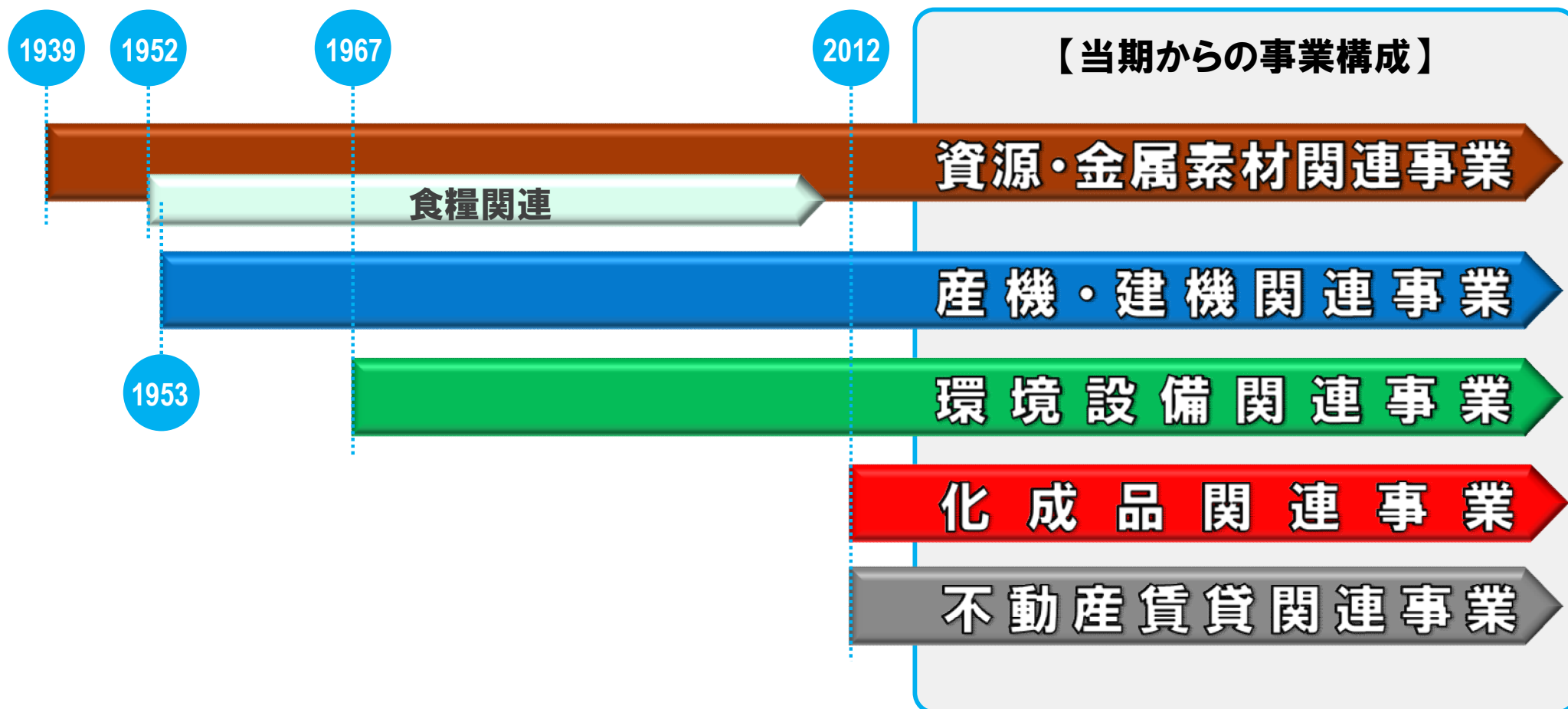
1. 今後の経営の方向性
2. 今後の事業戦略
 - ①素材
 - ②技術
 - ③環境



I. 決算の概要

1. 連結決算について

- 前第4四半期より貸借対照表について連結決算を開始
- 当期より、「損益計算書」、「キャッシュ・フロー計算書」についても連結決算を開始



2. 環境および決算の概要

● 経営環境

- 復興需要を背景に底堅さも見られたものの、世界経済の減速などから国内景気を下押しするリスク大
- 当社の資源・金属素材関連にとって中国経済の影響は大特に主力製品のジルコンサンドの価格低迷

● 決算概要

- 単体業績は前年比減収減益、計画比は利益上振れ
- 連結業績は売上高はほぼ当初予想通り
利益面では当初予想を大幅に上回った
⇒ 大幅な落ち込みを予想していた化成品関連が予想を大幅に上回ったこと、
⇒ 販管費が当初予想以上に圧縮できたこと などによる

3. 連結決算ハイライト（当初予想比）

（単位：百万円、％）

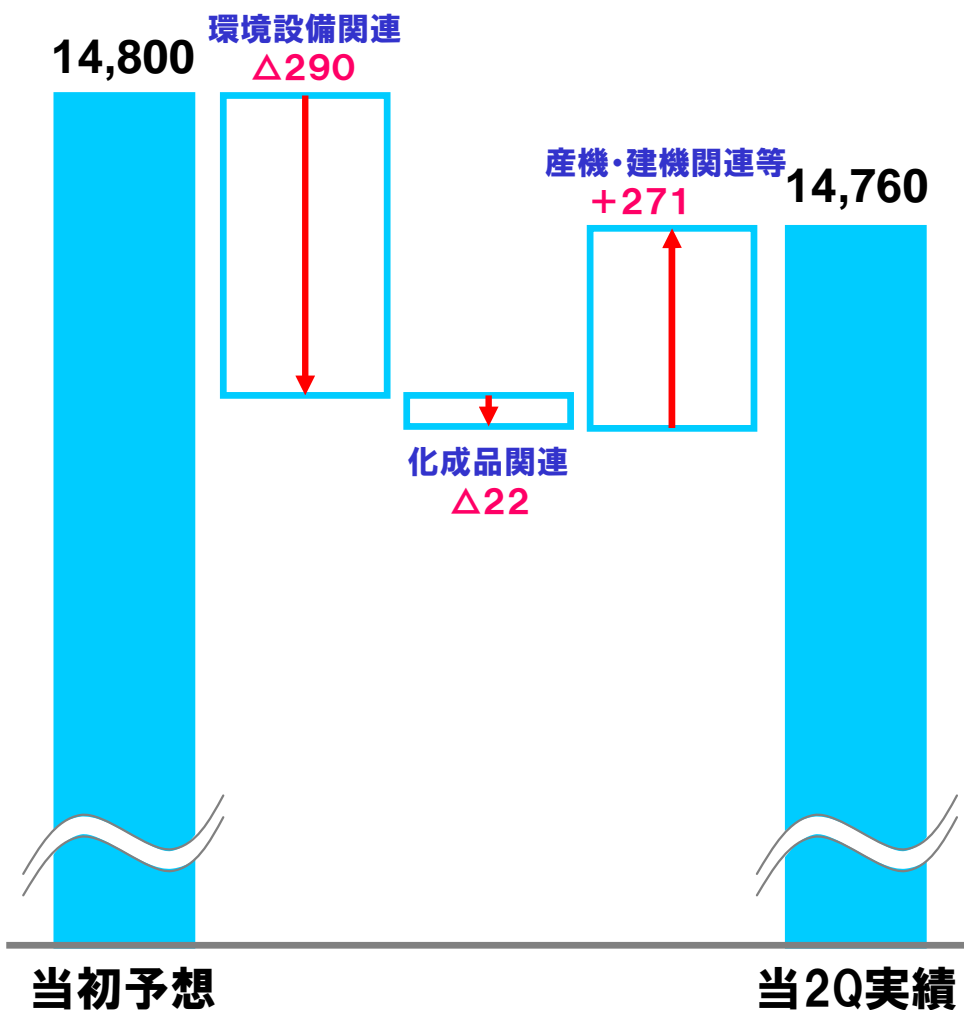
【連結】	2013年3月期 第2四半期累計				当初予想比	
	当初予想		実績		増減額	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
売上高	14,800	100.0	14,760	100.0	△40	△0.3
①資源・金属素材関連	6,200		6,241		41	△0.7
②産機・建機関連	2,820		3,041		221	7.8
③環境設備関連	960		670		△290	△30.3
④化成品関連	4,760		4,738		△22	△0.5
⑤不動産賃貸関連	60		67		7	11.7
売上総利益	1,950	13.2	1,991	13.5	41	2.1
①資源・金属素材関連	380		317		△63	△16.6
②産機・建機関連	980		1,030		50	5.1
③環境設備関連	350		360		10	2.9
④化成品関連	180		217		37	20.6
⑤不動産賃貸関連	60		66		6	10.0
販売費及び一般管理費	1,670	11.3	1,606	10.9	△64	△3.8
営業利益	280	1.9	385	2.6	105	37.5
経常利益	280	1.9	392	2.7	112	40.0
特別損益	△5		△48		△43	860.0
法人税等	113		150		37	32.7
四半期純利益	162	1.1	192	1.3	30	18.5
1株当り四半期純利益（円）	14.27		16.99			
1株当り中間配当金（円）	7.50		7.50		0	-

4. 連結 収益分析（当初予想比）

（単位：百万円）

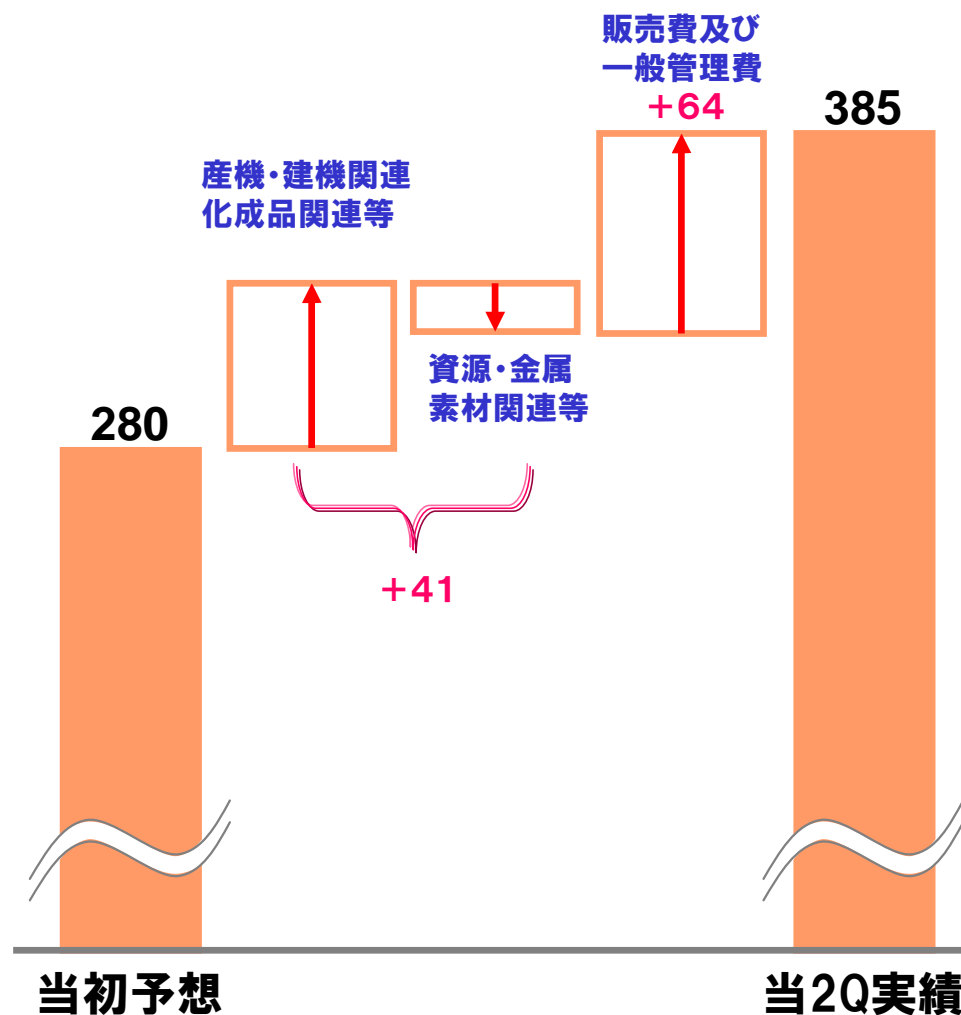
【売上変動要因】

△40百万円



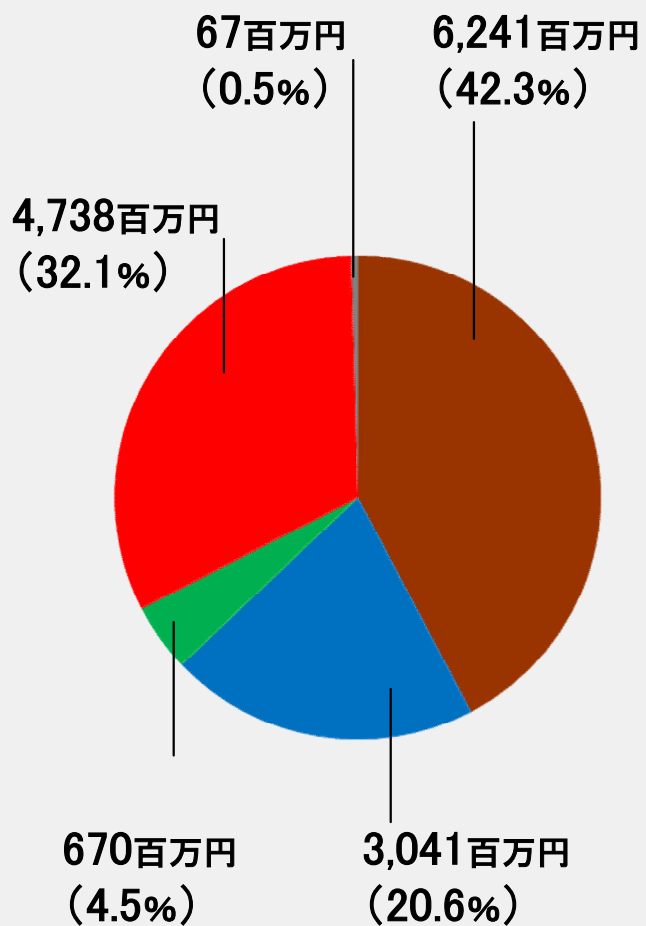
【営業利益変動要因】

+105百万円



5. 部門別 連結売上・利益 構成比

【連結売上高構成比】



合計 14,760百万円

資源・金属素材関連事業

産機・建機関連事業

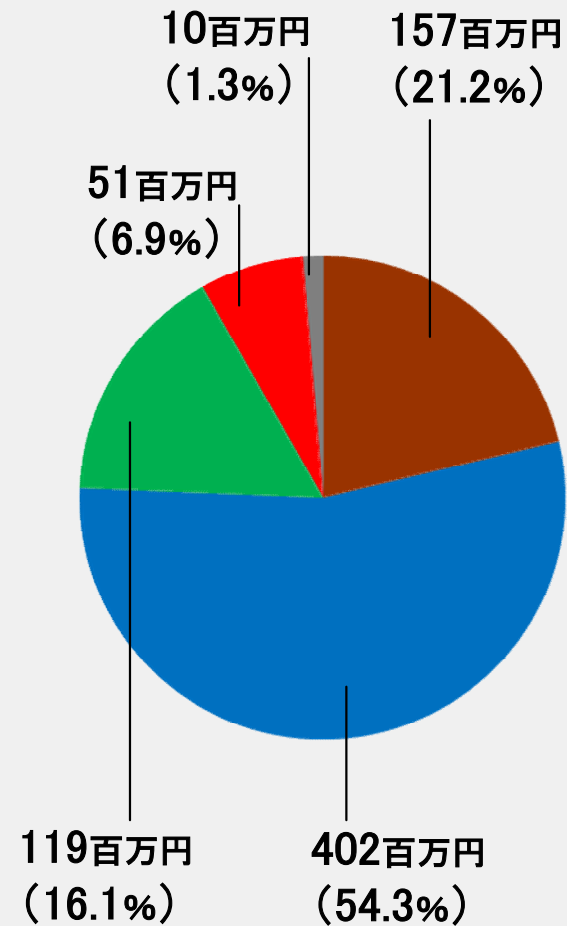
環境設備関連事業

化成品関連事業

不動産賃貸関連事業

注) 連結営業利益構成比は、
 全社費用355百万円を除く
 報告セグメント計741百万円を
 分母として算出。

【連結セグメント営業利益構成比】



合計 741百万円

6. 部門別売上高、営業利益(個別の前年同期比)

売上高

営業利益

(単位:百万円、%)

【連結 & 単体】	2012年3月期 第2四半期累計 (単体)		2013年3月期 第2四半期累計 (連結)		前年同期比		2012年3月期 第2四半期累計 (単体)		2013年3月期 第2四半期累計 (連結)		前年同期比	
	金額	構成比	金額	構成比	増減額	増減率	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
資源・金属 素材関連	6,960	64.7	6,241	42.3	△719	△10.3	449	49.9	157	21.2	△292	△65.0
産機・建機 関連	3,191	29.7	3,041	20.6	△150	△4.7	410	45.6	402	54.3	△8	△2.0
環境設備 関連	606	5.6	670	4.5	64	10.6	39	4.4	119	16.1	80	205.1
(3事業 小計)	10,757	100	9,952	67.4	△805	△7.5	899	100	678	91.5	△221	△24.6
化成品関連	-	-	4,738	32.1	-	-	-	-	51	6.9	-	-
不動産賃貸 関連	-	-	67	0.5	-	-	-	-	10	1.3	-	-
(売上高 合計)			14,760	100.0	-	-			741	100.0	-	-

7. 部門別の概況 ①資源・金属素材関連

- フェロニッケルの売上減をジルコンサンド、チタン原料、金属シリコンの売上増で吸収するもカバーできず減収。

【フェロニッケル】 台湾向商流の終了で売上はなし。

【ジルコンサンド】 数量が前年を上回り売上増。

【その他の商品】 金属シリコンやチタン原料が大幅増。

(単位:百万円、%)

	売上高				受注高			
	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率
フェロニッケル	2,628	0	△2,628	-	2,628	0	△2,628	-
ジルコンサンド	2,160	3,016	856	39.6	2,340	2,782	442	18.9
チタン原料	648	1,625	977	150.8	635	1,613	978	154.0
輸入原料	657	410	△247	△37.6	673	592	△81	△12.0
金属シリコン	493	901	408	82.8	571	730	159	27.8
クローラクレーン	83	69	△14	△16.9	72	61	△11	△15.3
その他商品	288	216	△72	△25.0	306	236	△70	△22.9
合計	6,960	6,241	△719	△10.3	7,227	6,017	△1,210	△16.7

7. 部門別の概況 ②産機・建機関連

- 復興需要の一段落で、産機・建機とも売上・受注高は共に微減。

【産機】 主力のワーマンポンプが復興需要の一段落で、売上・受注ともに減少。

【建機】 シールド掘進機は前期が悪すぎたこともあり、受注高は前期比2倍。

(単位:百万円、%)

	売上高				受注高			
	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率
ワーマンポンプ	1,477	1,312	△165	△11.2	2,016	1,837	△179	△8.9
ヒドロスタルポンプ	436	459	23	5.3	720	729	9	1.3
その他ポンプ	218	201	△17	△7.8	208	211	3	1.4
その他産業機械	311	331	20	6.4	479	367	△112	△23.4
産業機械 計	2,443	2,305	△138	△5.6	3,424	3,145	△279	△8.1
シールド掘進機	574	589	15	2.6	327	655	328	100.3
その他建設機械	173	144	△29	△16.8	247	156	△91	△36.8
建設機械 計	747	734	△13	△1.7	575	812	237	△41.2
合計	3,191	3,041	△150	△4.7	4,000	3,957	△43	△1.1

8. 部門別の概況 ③環境設備関連

- 水砕スラグ製造設備(ラサシステム)が大型案件の売上計上で大幅増。

(単位:百万円、%)

	売上高				受注高			
	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率
水砕スラグ製造設備	320	421	101	31.6	297	254	△43	△14.5
ブツマイスター高圧 ピストンポンプシステム	157	181	24	15.3	315	265	△50	△15.9
輸入高圧用ポンプ 及び機器類	127	67	△60	△47.2	169	87	△82	△48.5
合計	606	670	64	10.6	782	606	△176	△22.5

7. 部門別の概況 ④化成品関連

- エコカー減税補助に支えられた国内向自動車産業の復調により化成品は売上、利益ともに増加

(単位:百万円、%)

	売上高				粗利			
	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率
化成品	1,556	1,786	230	14.8	96	106	10	10.4
合成樹脂	3,443	2,950	△493	△14.3	122	108	△14	△11.5
合計	4,998	4,738	△260	△5.2	218	214	△4	△1.8

7. 部門別の概況 ⑤不動産賃貸関連

● 保有資産の有効活用 付加価値の高い都心部で好条件の不動産を優良テナントに提供

【貸オフィス関連】 ラサ本社ビル1-3階(約250坪)、イズミ本社ビルB1-7階(約420坪) オフィス等として賃貸中

【貸駐車場関連】 八潮(800坪)、上尾(270坪、170坪)を駐車場として賃貸中

(単位:百万円、%)

	売上高			
	前2Q累計	当2Q累計	増減額	増減率
貸オフィス関連	38	63	25	65.8
貸駐車場関連	4	4	0	0
合計	42	67	25	59.5

※ラサ本社ビルの賃貸は2011年11月開始

8. 連結貸借対照表 ①資産の部

(単位:百万円・%)

	前期末		当第2四半期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	16,722	66.3	16,644	65.9	△78	△0.5
現金及び預金	2,051		1,680		△371	△18.1
受取手形	2,837		3,214		377	13.3
売掛金	6,978		6,438		△540	△7.7
商品及び製品	4,428		4,858		430	9.7
その他	428		454		26	6.1
固定資産	8,509	33.7	8,597	34.1	88	1.0
有形固定資産	6,114	(24.2)	6,413	(25.4)	299	4.9
土地	4,399		4,730		331	7.5
建物	1,584		1,573		△11	△0.7
その他	131		110		△21	△16.0
無形固定資産	257	(1.0)	239	(0.9)	△18	△7.0
投資その他資産	2,137	(8.5)	1,944	(7.7)	△193	△9.0
投資有価証券	1,437		1,253		△184	△12.8
その他	700		691		△9	△1.3
資産合計	25,232	100.0	25,242	100.0	10	0

8. 連結貸借対照表 ②負債・資本の部

(単位:百万円・%)

	前期末		当第2四半期末		増減	増減率
	金額	構成比	金額	構成比		
流動負債	11,522	(45.7)	11,351	(45.0)	△171	△1.5
支払手形	3,013		2,413		△600	△19.9
買掛金	4,098		3,378		△720	△17.6
短期借入金	2,061		3,990		1,929	93.6
1年内返済予定の長期借入金	311		281		△30	△9.6
1年内償還予定の社債	680		730		50	7.4
賞与引当金	275		207		△68	△24.7
未払法人税等	563		144		△419	△74.4
その他	518		205		△313	△60.4
固定負債	4,221	(16.7)	4,347	(17.2)	126	△3.0
社債	2,274		2,384		110	4.8
長期借入金	915		904		△11	△1.2
退職給付引当金	505		460		△45	△8.9
繰越税金負債	435		429		△6	△1.4
その他	91		168		77	84.6
負債合計	15,744	62.4	15,698	62.2	△46	△0.3
株主資本	9,188	(36.5)	9,267	(36.7)	79	0.9
その他の包括利益累計額	32		6		△26	△81.3
少数株主持分	266		270		4	1.5
純資産合計	9,487	37.6	9,544	37.8	57	0.6
負債純資産合計	25,232	100.0	25,242	100.0	10	0
自己資本比率(%)	36.5	—	36.7	—	—	—

9. 連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	前2Q累計	当2Q累計	当期の主要項目
営業キャッシュ・フロー	-	△2,047	税引前四半期純利益 343 たな卸資産の増加 △489 仕入債務の減少 △1,319
投資キャッシュ・フロー	-	△255	有形固定資産取得 △353 投資有価証券の償還 101
財務キャッシュ・フロー	-	1,931	短期借入金の借入 1,928 長期借入金の借入 279 長期借入金の返済 △321 社債の発行 890 社債の償還 △730 配当金の支払 △113
換算差額	-	-	
増減	-	△371	
期首残高	-	2,051	
期末残高	-	1,680	



II. 2013年3月期業績見通し

1. 業績見通し

● 通期の業績見通しは当初予想に変更なし

(単位:百万円・%)

	(個別)	(連結)	(連結)	(連結)
	2012年 3月期実績	2013年3月 第2四半期実績	2013年 下期見直し	2013年 3月期予想
売上高	25,765	14,760	17,740	32,500
資源・金属素材関連	16,034	6,241	7,109	13,350
産機・建機関連	7,746	3,041	4,709	7,750
環境設備関連	1,964	670	1,180	1,850
化成品関連	—	4,738	4,682	9,420
不動産賃貸関連	20	67	63	130
売上総利益	4,774	1,991	2,759	4,750
販売費及び一般管理費	3,144	1,606	1,794	3,400
営業利益	1,630	385	965	1,350
経常利益	1,638	392	958	1,350
当期純利益	870	192	585	777
1株当り当期純利益(円)	77.65	16.99	51.48	68.47

2. 配当

【当期第2四半期末実績】 7.5円（当初予想通り）

【当期末予想】 7.5円

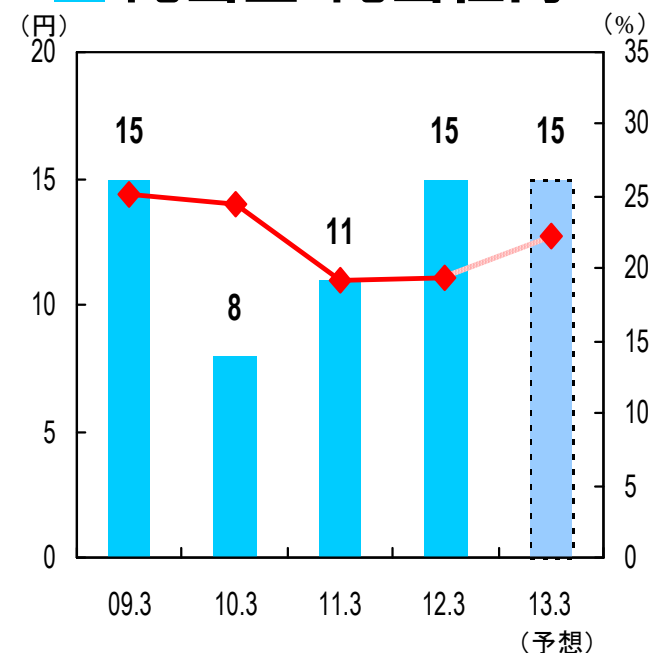
● 配当方針

- 安定配当を行なうこと
- 配当性向20%前後を維持すること

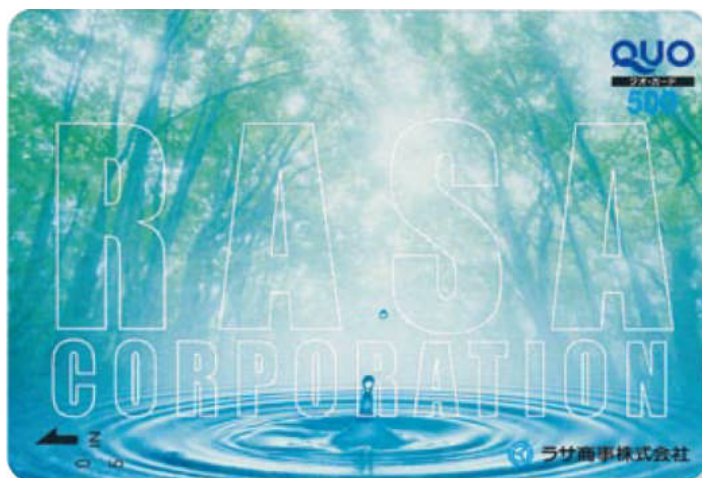
【前期実績】 19.3%

【当期予想】 21.9%

■ 配当金・配当性向



3. 株主優待制度の一部変更



より多くの株主様に当社株式を長い期間保有して
いただきたく、株主優待制度の内容を一部変更

対象株主様
(変更なし)

毎年3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記録された1単位(100株)以上保有の株主様

株主優待制度
変更時期

2014年3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に記録された株主様から、変更後の優待内容を実施
*2013年3月31日については、現行のとおり

現行

株式保有期間にかかわらず
すべての対象株主様共通

1. **500円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 「公益財団法人緑の地球防衛基金」への寄付 (株主様1人あたり50円)
3. 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」への寄付 (株主様1人あたり60円)

変更後

当社株式保有期間が
1年未満の株主様

1. **500円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 「公益財団法人緑の地球防衛基金」への寄付 (株主様1人あたり50円)
3. 認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」への寄付 (株主様1人あたり60円)

当社株式保有期間が
1年以上継続保有の株主様

1. **1,000円相当**の当社オリジナルQUOカードの贈呈
2. 左記に同じ
3. 左記に同じ

*1年以上継続保有とは、3月31日を基準日として同日最終の株主名簿に同一株主番号で、1年以上記録されている状態。全株式を売却後、再度購入された場合や、貸株制度の利用等により、株主番号が変更になった場合は、継続保有とみなされません。

公益財団法人緑の地球防衛基金への寄付

「公益財団法人緑の地球防衛基金」より感謝状を頂きました





Ⅲ. 今後の戦略

1. 今後の経営の方向性

【今期の位置づけ】

イズミ(株)を傘下に加えた
“新”ラサ商事グループの
経営本格化の初年度



【経営基本方針 ①】

今後のグループ経営

効率的かつ戦略的な
グループ経営体制の
早期確立

【現在の事業環境】

国内外の景気動向が
下ブレ懸念の拡大など
先行き不透明な状況



【経営基本方針 ②】

今後の事業戦略

主力商品の安定成長
を基礎としながら、
第2・第3の柱を育成

3. 今後の事業戦略

次の柱の育成に向けた3つのキーワード

① 「素材」

② 「技術」

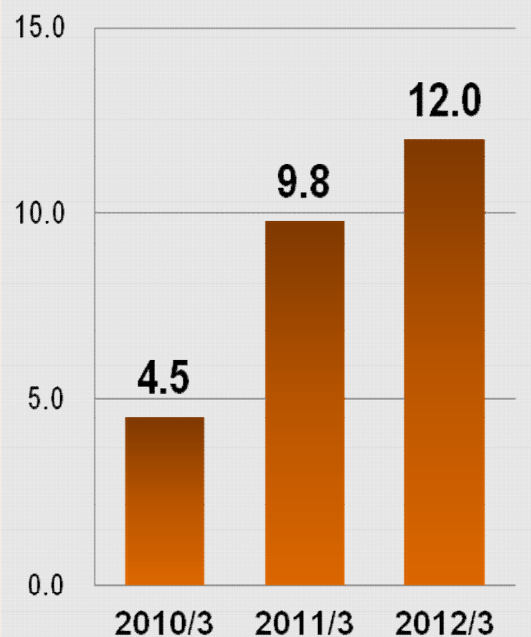
③ 「環境」

3. 今後の事業戦略 ①素材

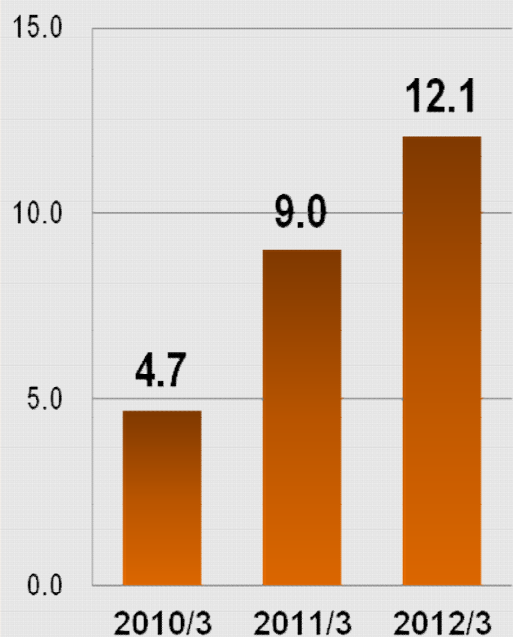
①「素材」をキーワードとした成長戦略

資源・金属素材関連における「10億円商材育成プロジェクト」の展開により、「金属シリコン」と「輸入原料」が着実な成長軌道

金属シリコンの売上高(億円)



輸入原料の売上高(億円)

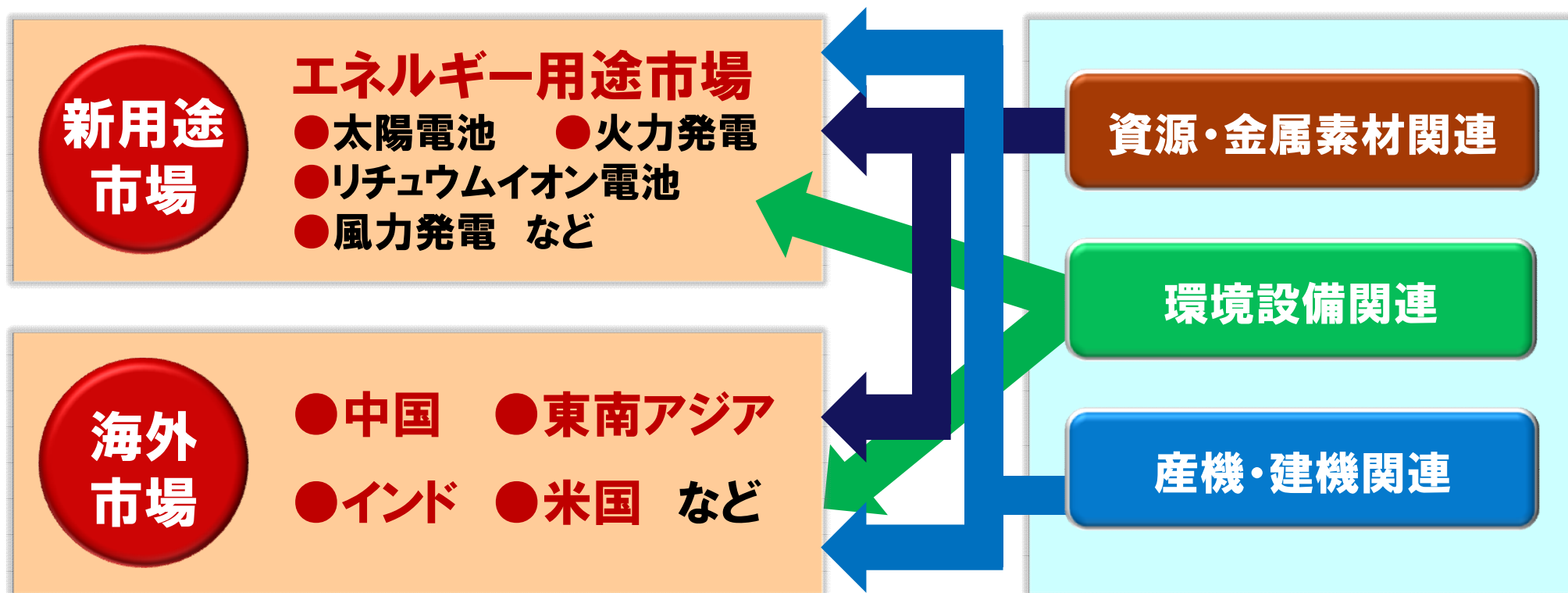


今後は、さらに、
ラサ商事グループとして、
当社とイズミ(株)の双方の
商品を双方の顧客企業
に販路を拡げるなど、
シナジー効果を活用した
成長戦略も推進

3. 今後の事業戦略 ②技術

②「技術」をキーワードとした成長戦略

各事業のニッチな分野における“商社の枠組みを超えた技術・ノウハウ”を武器に、新たな用途市場や海外市場に向けて拡販を推進



3. 今後の事業戦略 ③環境

③「環境」をキーワードとした成長戦略

注目が集まるIGCC(石炭ガス化複合発電)

IGCCの特徴

- 従来の石炭火力発電より発電効率が高い
- CO2排出量が大幅に削減(ほぼ石油火力発電と同等)
- 用水使用量が大幅に低減
- 従来の石炭火力発電では利用が困難な灰融点の低い石炭に適合
- スラッグの再利用が可能(従来の石炭火力発電では多量の石炭灰が発生)

このスラッグの製造において
当社の「水砕スラッグ製造設備」が活躍



* IGCC実証機プロジェクトは、福島県勿来において石炭処理量200t/日(2.5万kW相当)のパイロットプラント試験を行い、大きな成果→現在、最終段階

● 注意事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

● IRに関する問い合わせ先

〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町一丁目11番5号

RASA日本橋ビルディング

TEL : 03-3668-8232(経営企画室)

URL : <http://www.rasaco.co.jp/> *「お問い合わせ」をクリックしてください。